

第5学年 道徳科学習指導案

日 時：令和5年2月4日（土）

学 級：5年1組（男子15名 女子23名）

授業者：氏原 和佐

(1) 主題名 自分のよさを伸ばす

(2) 資料名 「感動したこと、それがぼくの作品～パブロ・ピカソ」（東京書籍）

(3) 本時のねらい

自分の特徴を知り、短所を改め長所を伸ばそうとする態度を育てる。

2 本時の展開

	学習活動 ○主な発問	・指導上の留意点 ★評価
導 入	<p>1 自分の得意なものについて発表する。</p> <p>○自分の得意なものやことは、ありますか。</p>	<p>・習い事や趣味だけでなく、人を楽しませるなど日常的なことでも良いことを伝える。</p>
展 開	<p>2 「感動したこと、それがぼくの作品～パブロ・ピカソ」を読んで話し合う。</p> <p>○ ピカソの個性が感じられるところは、どこですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さいころから絵が上手。 ・絵が好き。絵ばかり描いている。 ・人にかかされる絵は、いやと言っている。 <p>○ ピカソは、どんな気持ちで「人にかかされる絵はもういやだ!」と言ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人のためだけでなく、自分のために描きたい。 ・自分が描きたいものを自由に描きたい。 ・お金や地位のために描いているのではない。 <p>○ 「ぼくにとって、感動したこと、それが作品なんだ。」とは、どういうことなのか、ピカソの考えについて話し合ってみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の作品についてあれこれ言われたくない。 ・自分が感動しなければ描けない。 ・何を言われても自分のために描く。 <p>◎ ピカソの生き方から学んだことは、何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを大切に、それを表現することのよさ。 ・自分の思いを信じること。 ・さらに上を目指し、力を尽くすこと。 ・自分を信じ続けること。 	<p>・ピカソの個性に着目させる。</p> <p>・補足を加えたり、絵を貼ったりしながら教材提示する。 ピカソが才能だけでなく、絵画の基礎基本を学んだうえで独自の作風をつくり上げていったことを押さえる。</p> <p>・たとえ、作品を避難されても、自分が感動したことだけを作品に表すという信念を曲げないピカソの強さに気付くようにする。</p> <p>★自らの信念を貫いて自分の個性を伸ばしているようにピカソのよさへの気付きについてワークシートの記述をもとに把握する。</p> <p>・「ゲルニカ」の絵にピカソが込めた思いを考えながら、ピカソの生き方を通して、自分のよさを伸ばすために大切なことについて話し合うようにする。</p>

	<p>3 今までの自分を振り返り、今後の生き方を考える。</p> <p>○自分の好きなこと、得意なことを続けてよかったと思うことはありますか。また、続けるために改めた短所は、ありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つらくてもあきらめなかったから、上手になれた。 ・遊びたい気持ちを我慢して続けていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピカソの生き方から学んだことを元に考えるように助言し、続けてこそ価値が生まれることに気付くようにする。 ★自分のよさを振り返り、さらに伸ばしていこうと考えている学習状況を把握する。
<p>終末</p>	<p>4</p> <p>○ピカソの絵を見る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・静かに絵を見て、余韻をもたせ、学習したことを長く感じ取れるようにする。